

新地方公会計制度による平成22年度財務諸表

本市では、民間企業のお考え方を取り入れた会計基準で皆様に財政状況をお知らせするため、総務省より示された「総務省方式改訂モデル」を用いて財務諸表4表を作成しています。なお、本紙においては財務4表のうち「貸借対照表（バランスシート）」のみを掲載し、それ以外の4表等は市のホームページに掲載しましたので、そちらをご覧ください。

貸借対照表（バランスシート）とは

地方公共団体の決算はその年度における収入・支出の状況を表しているのに対し、貸借対照表は今までに市が建設してきた学校や福祉施設、道路、公園などの資産【市民の財産】の状況と、そのために将来負担しなければならない借入金などの負債を把握することができます。

普通会計バランスシート

(平成 23 年 3 月 31 日現在)

借方（資金の使われ方）		貸方（資金調達のされ方）	
1 公共資産		1 固定負債	
①有形固定資産 899億 8,287万円 庁舎、道路、公園、学校、保育園、 公民館、体育館などの土地、建物		1年以上先に支払うもの	
②売却可能資産 676万円		①地方債 165億 205万円	
		②長期未払金 7億 719万円	
		③退職手当引当金 37億 5,771万円	
	899億 8,963万円		209億 6,695万円
2 投資等		2 流動負債	
①投資及び出資金 1億 7,240万円		1年以内に支払うもの	
②基金等 70億 4,437万円		①翌年度償還予定地方債 20億 5,643万円	
③その他 3億 2,276万円 長期延滞債権等		②未払金 1億 2,912万円	
	75億 3,953万円	③賞与引当金 5億 3,789万円	
			27億 2,344万円
3 流動資産		●負債合計	
①資金 現金や必要に応じてすぐ使える基金 (預金)		236億 9,039万円(229億 2,012万円)	
・財政調整基金 17億 5,915万円		1 純資産	
・減債基金 11億 2,788万円		既に負担して、支払いが済んでいる	
・歳計現金 11億 9,976万円		資産	
②未収金 1億 740万円		①国県補助金等 141億 5,103万円	
	41億 9,419万円	②一般財源等 638億 8,193万円	
●資産合計		●純資産合計	
1,017億 2,335万円(999億 3,994万円)		780億 3,296万円(770億 1,982万円)	
		●負債・純資産合計	
		1,017億 2,335万円(999億 3,994万円)	

資産合計 1,017億 2,335万円【市民1人当たり 171万円 (168万円)】

負債合計 236億 9,039万円【市民1人当たり 40万円 (39万円)】 ()内は前年度

純資産合計 780億 3,296万円【市民1人当たり 131万円 (129万円)】の金額

※平成 23 年 3 月 31 日現在 住民基本台帳人口 59,429 人

普通会計とは一般会計と仁良川地区土地区画整理事業特別会計の一部を合算したものです。

平成 22 年度は公共資産が道の駅整備等により増加し、また投資等の庁舎整備基金や、流動資産の減債基金等の増により資産が約 17 億 8,341 万円増加しました。また、公共資産の整備が増えたため借り入れも増加し、負債も約 7 億 7,027 万円の増となっています。